

# 北海道建築士

HOKKAIDO KENCHIKUSHI 2017.07.No239

7月号

## 目次

第42回 一般社団法人 北海道建築士会 全道大会(後志大会) “シリベシ シルベシ クルベシ!”.....1
Coffee Break.....7
特集 「木育とまちづくり」.....8
青年・女性の怒.....9 [青年委員会]
information.....10
URL <a href="http://www.h-ab.com/">http://www.h-ab.com/</a>

## 第42回 一般社団法人 北海道建築士会全道大会(後志大会) “シリベシ シルベシ クルベシ!”

- 大会テーマ 「NISEKO GLOCAL (ニセコ グローカル)」
- サブテーマ -共生と連携のまちづくり-



第42回 一般社団法人北海道建築士会全道大会実行委員長  
後志支部 支部長 榑 政 信

第42回北海道建築士会全道大会を後志支部の倶知安町とニセコ町で開催いたします。後志支部は、ニセコ・羊蹄山麓エリアの倶知安町、京極町、喜茂別町、留寿都村、真狩村、ニセコ町、蘭越町、黒松内町の8か町村に在住している建築士で構成されております。これまで、全道大会は、後志管内では小樽市で開催しておりますが、町村での開催は初めてとなります。

羊蹄・ニセコエリアは、四季折々の表情を持つ豊かな自然に恵まれ、羊蹄山やニセコアンヌプリの山々の自然や田園風景が織りなす魅力的な景色に溢れ、人々の生活に潤いや地域への愛着をもたらしてくれています。

ニセコのパウダースノーに憧れ、多くの外国人が訪れているニセコエリアは、観光リゾート地として変貌を続けています。羊蹄・ニセコの雄大な自然の中でアクティビティを楽しむ人々、避暑地としてロングステイを楽しむ人々、そして、観光開発を進める外国資本や働く外国人が増えています。ペンションやホテルからコンドミニアムと宿泊形態も変化し、グローバルなエリアとして、国際化が進み、多様な文化が混在してきています。

さらに、北海道新幹線や高速道路の建設が始まり、交通アクセスの高速化に向けた取り組みが進み、生活エリアの広域化と共にニセコエリアが観光のハブとなる期待も高まっています。

一方、これまで、広域的な景観づくりに取り組んできた羊蹄・ニセコエリアでは、地域連携によるローカルな地域づくりやまちづくりが、着実に歩んできています。

ニセコ町の農協倉庫群を再生した観光と地域のまちづくりの拠点「倉庫邑」。後志エリアの空き家活用を進める官民連携の「しりべし空き家BANK」。倶知安町の新幹線新駅と連携する周辺まちづくり。多雪地域に住まう「しりべし型住宅」や「くっちゃん型住宅」。地域を流れる尻別川の水辺の環境保全や地域づくりとシーニックバイウェイなどなど。地域の歴史や自然景観を守り育て、潤いのある暮らしを次世代に引き継ぐ様々な活動が行われています。

グローバル化が進むローカルなエリアで織りなす共生と連携のまちづくりを大いに語り合ひましょう。「しりべし、知るべし、来るべし」皆さんをお待ちしております。

### [大会プログラム]

月 日	時 間	開 催 内 容	会 場
9月30日 (土)	10:00~12:00 (B分科会参加者は9:50~)	来賓・大会参加者受付 昼食 ※1	倶知安町文化福祉センター ホワイエ 羊蹄・ニセコエリアの飲食店等
	12:00(受付)~14:30 ※2	分科会 A分科会(女性委員会)	倶知安風土館 大展示室
	9:50(受付)~14:30 ※3	B分科会(まちづくり委員会)	ニセコ中央倉庫群 1号倉庫
	12:00(受付)~14:30	C分科会(青年委員会)	倶知安町文化福祉センター 中ホール
	14:45~16:15	大会式典	倶知安町文化福祉センター 大ホール
	16:25~17:35	基調講演	倶知安町文化福祉センター 大ホール
19:00~20:45	懇親会 ※4	ヒルトンニセコビレッジ 大宴会場	

- ※1 昼食は、分科会開始前に支部管内の飲食店をご利用ください。B分科会参加の方は昼食の弁当を受付けます。
  - ※2 文化福祉センターからA分科会会場へはバスの運行もあります。徒歩移動予定の方は、大会受付後ご乗車ください。発車11:45(時間厳守)です。なお、帰りのバス運行はありませんのでご注意ください。
  - ※3 B分科会は9:50から文化福祉センターで受付し、バスで10:20(時間厳守)から移動して14:30に文化福祉センターに戻ります。
  - ※4 大会会場から懇親会場まで、懇親会終了後に会場から倶知安町(まちの駅)まで、シャトルバスを2便づつ用意します。
- ★前日29日夜に「青年サミット」を開催します。詳細は別途、青年委員会各ブロック長よりご案内します。

## 分科会

### A分科会 町の原風景へ『くっちゃん型住宅』官民連携の取組み

女性委員会

後志地方のうち、倶知安町、ニセコ町、京極町周辺は、羊蹄山やニセコ連峰にかこまれた自然豊かな地域です。近年は外国人スキーヤーなどからの人気が高まり、季節を問わず国際的なリゾート地として発展を続けています。A分科会では、大会のサブテーマ～共生と連携のまちづくり～の実践例のひとつとして、倶知安町の取組み「くっちゃん型住宅」ガイドラインを取り上げます。自然景観や街並みとの調和、寒冷地を考慮した性能の確保、自然素材の積極的活用、住まい手としての配慮などがコンセプトとなっています。ガイドライン作成・運用に当たっての経緯、取組み状況などについて、行政の立場からと実際に関わっている建築士会会員から、それぞれお話しを伺い、地域の原風景にふさわしい住宅ストックとなる住まいや、暮らし方について考えます。また、分科会参加者の皆さまからも地域の実情などをご紹介いただき、情報交流をすすめてまいります。後半は、「くっちゃん型住宅」の現場見学を予定しています。

### B分科会 歴史的建造物の再生とニセコエリアのまちづくりを学ぶ

まちづくり委員会

ニセコ山系や羊蹄山などの山々に囲まれ、清流日本一にも輝いた尻別川が流れる自然豊かなニセコエリア。スキーリゾートや温泉、北海道有数の農産地ならではの「食」など、北海道の魅力を一気に満喫できる場所であり、近年では外国人から好まれる長期滞在型の宿泊施設（コンドミニウム）が多く建設され、国際的な観光地となりました。

B分科会では、そんなニセコエリアを代表する倶知安町とニセコ町にスポットを当て、“グローバルなヒラフ地区”、“ローカルな倶知安駅前・ニセコ駅前”のまちなみをバスで巡るとともに、かつて農産物の集積場として使用された歴史ある倉庫群を再生利活用した「ニセコ中央倉庫群」にて、ニセコエリアの観光やまちづくりを学びます。

### C分科会 新幹線が夢を運ぶ!! ～倶知安のまちを考えよう 2nd Step～

青年委員会

昨年、新青森～新函館北斗間において北海道新幹線が開業しました。そして、13年後の2030年に札幌までの延伸に向け、建設整備が進められており、倶知安町にも新幹線駅が出来ることが決定しております。現在倶知安町では、各団体や新たな組織を立ち上げ、将来を見据えたまちづくりとして、検討している状況です。私たち建築士会も、平成27年度の青年建築士の集い（後志大会）をキックオフイベントとし、色々な問題点や意見の収集を行いました。今回のC分科会では次のレベルにステップアップし、本大会テーマのグローバルという新たな一面も含めて検討していきたいと考えています。一般市民の方々と交えたワークショップを通して、さらなる検討・内容の整理を行い、建築士として、地域と連携したまちづくりの提案を目指します。

## HOKKAIDO KENCHIKUSHI EXTRA in SHIRIBESHI 2017

情報委員会は今年も号外を発行！

後志大会のとれたて情報をいち早くお届けします

## 基調講演 テーマ：『限界集落からの脱却』－現実の「ナポレオンの村」－

講師：高野 誠 鮮（たかの じょうせん 1955(昭和30)年11月2日生）



石川県羽咋市出身。日蓮宗本證山妙法寺第41世住職。日蓮宗妙成寺相談役。総務省大臣委嘱地域力創造アドバイザー。地方創生アドバイザー（富山県氷見市に所向）。立正大学客員教授。新潟経営大学特別客員教授。

大学在学中から科学雑誌ライターとなり、テレビ番組の構成をてがける。

実家の寺院を継ぐために能登半島に帰省し住職となる。

昭和59年4月から羽咋市勤務（臨時職員）。同年、「UFOでまちづくり」を羽咋市で勝手に開始。平成3年に任用委員会で吏員採用となる。平成28年3月羽咋市文化財室室長で定年退職し、現在に至る。

宇宙とUFO国際会議の開催や公立宇宙科学博物館（コスモイル羽咋）の建設などUFOによる町おこしを生み出した。また、平成17年より過疎高齢化集落の神子原地区の活性化とブランド農作物を作る「山彦計画」に取り組み「神子原米」のブランド化や限界集落からの脱却に成功し、毎日地方自治大賞など多数の賞を受賞した。平成13年2月2日付毎日新聞コラムで「スーパー公務員」と立川志の輔師匠が紹介。

平成27年7月よりTBS系列の連続ドラマ「ナポレオンの村」（原案「ローマ法王に米を食べさせた男」、主演唐沢寿明）のモデルとなる。

## 第42回全道大会（後志大会） 会場・宿泊のご案内

### 【大会等会場のご案内】



<p>■大会式典・基調講演・受付、C分科会</p> <p>倶知安町文化福祉センター          倶知安町南3条東4丁目2番地2          0136-22-0230・4151 駐車場約100台</p>
<p>■A分科会会場</p> <p>倶知安風土館          倶知安町北6条東7丁目3          0136-22-6631 駐車場約50台</p>
<p>■B分科会会場</p> <p>ニセコ中央倉庫群          ニセコ町字中央通60-2          0136-55-5538（NPO法人ニセコ倉庫邑）</p>



<p>★昼食</p> <p>羊蹄・ニセコエリアの飲食店で後志の食をお楽しみ下さい。</p>
---

※下記のWEBサイトで倶知安町、ニセコ町の飲食店がご覧いただけますのでご紹介します。

倶知安町「食べ飲みガイド2017」	<a href="http://www.town.kutchan.hokkaido.jp/tourism/kankou_pamphlet/">http://www.town.kutchan.hokkaido.jp/tourism/kankou_pamphlet/</a>
ニセコ町「グルメガイドマップ」	<a href="http://www.town.niseko.lg.jp/goannai/nisekomap.html">http://www.town.niseko.lg.jp/goannai/nisekomap.html</a>

## 【懇親会場のご案内】

### ■懇親会場

ヒルトンニセコビレッジ  
ニセコ町東山温泉  
0136-44-1111

- ◎ 東山エリア案内図内の⑤になります。
- ◎ 式典会場から懇親会場へシャトルバスを用意します。利用される方は、参加申込書にバス利用の有無と「乗降場所」に○印して下さい。
- ◎ ホテル⑩及びペンション⑥⑦⑧⑨については、懇親会場への送迎があります。ホテル①②③と懇親会場間はシャトルバスをご利用ください。

## 【シャトルバス運行（乗降場所）案内】

### ●基調講演終了後、懇親会場へ

- 0 『式典会場』文化福祉センター
- ↓
- 1 J R 倶知安駅
- ↓
- 2 セイコーマートひらふ店前
- ↓
- 3 ひらふウエルカムセンター
- ↓
- 4 『懇親会場』ヒルトンニセコビレッジ

### ○懇親会終了後、倶知安町市街へ

- 0 『懇親会場』ヒルトンニセコビレッジ
- ↓
- 1 ひらふウエルカムセンター
- ↓
- 2 セイコーマートひらふ店前
- ↓
- 3 J R 倶知安駅
- ↓
- 4 倶知安駅前通「まちの駅ぷらっと」

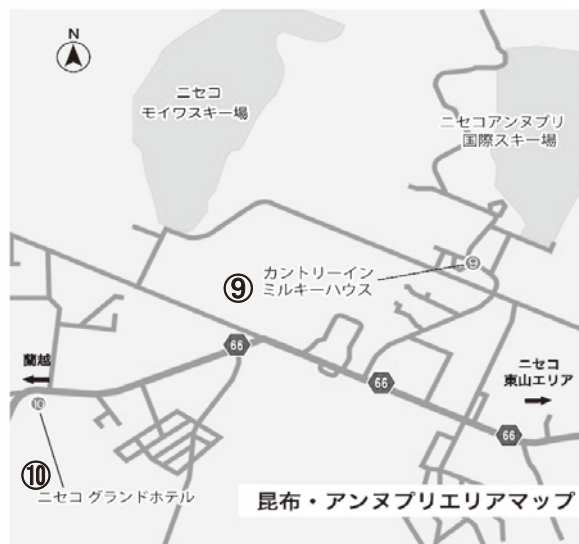
## 【ヒラフエリア案内図】



## 【東山エリア案内図】



## 【昆布・アンヌプリエリア案内図】



## 【宿泊のご案内】

大会の宿泊について、下記の【ご案内宿泊施設一覧・料金表】の宿泊施設を希望される場合は、次の問合せ先にお問合せ・お申込みください。  
★ 申込み期限 平成29年8月25日 ★

### 【宿泊の問合せ先】

株式会社ニセコリゾート観光協会（担当者：加藤） TEL 0136-43-2051 FAX 0136-43-2052  
〒048-1544 虻田郡ニセコ町字元町77-10 道の駅ニセコビュープラザ内  
・「宿泊申込書」などの詳細につきましては、会誌への同封とともに各支部にご案内を送付します。

### ○ご案内の概要

#### 【宿泊設定期間：平成29年9月29日（金）及び30日（土）】

- ・申込み方法：別途ご案内の「宿泊申込書」に、下表でご希望のホテルの申込番号を記入していただきます。
- ・ホテルの決定：ホテル予約確定後、お客様へのご案内は「宿泊確認書兼請求書」をFAXいたします。
- ・注意事項：宿泊料金は、1泊朝食付（消費税およびサービス料および入湯税込み）のお1人様あたりの料金です。朝食が不要の場合でも、ご返金はありません。  
申込み順にご希望のホテルを手配いたします。  
希望のホテルが満室になった場合は、他ホテル・他部屋タイプでご案内いたします。  
各宿泊施設でのチェックイン手続きは、ご自身で行って下さい。
- ・案内以外の宿泊施設をご希望の方は、各自で直接宿泊施設にお申込みをして下さい。

### 【ご案内宿泊施設一覧・料金表】

お一人様あたり（税込）単位：円

申込み番号・施設名	人数	温泉	摘要	1名1室	2名1室	3名1室	4名以上1室	エリア
① 木ニセコ		○		16,170	8,610	8,190	8,610	ヒラフ
② ホテルニセコアルペン		○		13,150	8,150	8,150	8,150	ヒラフ
③ 湯元ニセコプリンスホテル「ひらふ亭」		○	9/29泊	15,106	10,070	8,280	7,684	ヒラフ
			9/30泊	17,123	11,475	9,777	9,097	
⑤ ヒルトンニセコビレッジ		○		14,550	9,050	8,150	-	東山
⑥ ペンションバンフ	27		懇親会場へ送迎有	9,720	5,940	5,400	-	東山
⑦ ペンションブルック	12		懇親会場へ送迎有	9,900	6,900	6,400	6,200	東山
⑧ ニセコOACロッジ	20		懇親会場へ送迎有	6,400	5,400	4,320	4,320	東山
⑨ カントリーインミルクィーハウス	15		懇親会場へ送迎有	10,500	8,500	8,500	-	昆布等
⑩ ニセコグランドホテル		○	懇親会場へ送迎有	12,300	8,500	7,800	6,800	昆布等

※各ホテルについては40人以上を確保しています。

各ホテル等の場所は4ページの各エリア案内図を参照して下さい。

- ・申込者のご都合により予約を取り消される際は、お一人様につき下記料率の取消料金を申し受けます。

取消日時	21日前まで	20日前～10日前まで	9日前～2日前まで	前日	当日及び無連絡
取消料金	無料	宿泊代金の10%	宿泊代金の30%	宿泊代金の80%	宿泊代金の100%

※返金については、上記手数料及び振込手数料を差し引いた金額を大会終了後に振り込みします。

## 第42回 (一社)北海道建築士会全道大会 (後志大会) 参加申込書

	所属支部名	支部
ふりがな	ふりがな	
氏 名	同伴者	
住 所	〒 - TEL ( ) - FAX ( ) -	
勤 務 先	〒 - TEL ( ) - FAX ( ) -	

月 日	行 事 項 目	参加行事に○印を記入		参加料・代金 /人	金 額	備 考
		本 人	同伴者			
9月30日(土)	大会参加費	○		4,000円		
	A分科会			-		※希望者は行きのみバス利用可 (11:45発)
	B分科会			-		※大会・分科会受付後、バスで移動 (10:20発)
	昼食 (弁当)			1,000円		
	C分科会			-		
	基調講演			-		
	大会式典			-		
	懇親会			6,000円		シャトルバス運行 ※
9月29日(金)	青年サミット	詳細は別途、青年委員会 各ブロック長よりご案内		/	/	
<b>■ 各支部への申込締切りは 8月30日(水)を厳守願います。</b>				合計金額		

上記のとおり、関係費  円 を添えて申し込みます。

平成 29 年 月 日

**[備考]**

- ◎大会参加費は、大会参加者全員に納めていただきます。ただし、会員外の同伴者は免除いたします。
- ◎関係費は、前納制とさせていただきますので、所要事項を記入し、費用を添えて各所属支部へ申し込んでください。
- ◎申し込みの取り消し及び変更は、9月15日(金)までとし、9月16日(土)以降の取り消しは返金できません。
- ◎申込用紙は1名につき1枚、同伴者は連名にて料金を加算してください。(申込用紙はコピー可)
- ※A分科会は文化福祉センターから分科会会場(風土館)へ「行き」のみバス利用が可能です。(発車11:45 時間厳守)  
ご利用の場合はバス利用の「有・無」に○印を付けてください。帰りのバス運行はありません。

行きのバス利用 有・無

- ※式典会場と懇親会場間にシャトルバスを2使用意します。ご利用についてバス利用の「有・無」に○印を付けてください。乗降場所は以下のとおりです。(往路)で乗る場所、(復路)で降りる場所を○で囲んでください。

シャトルバス利用 有・無

(往 路) 式典会場発 ⇒ J R 倶知安駅 ⇒ セイコーマートひらふ店前 ⇒ ひらふウエルカムセンター ⇒ 懇親会場  
 出発時刻の目安 18:00 ~ 18:10 ~ 18:25 ~ 18:35 ~ 18:50

(復 路) 懇親会場発 ⇒ ひらふウエルカムセンター ⇒ セイコーマートひらふ店前 ⇒ J R 倶知安駅 ⇒ まちの駅

- 大会の宿泊について「ご案内宿泊施設」をご希望の場合は、下記に問合せ・申込みをお願いします。

**【申込み期限 平成29年8月25日】**

株式会社ニセコリゾート観光協会 (担当者:加藤) TEL 0136-43-2051 FAX 0136-43-2052

〒048-1544 虻田郡ニセコ町字元町77-10 道の駅ニセコビュープラザ内

- ・詳細につきましては、会誌への同封とともに各支部にご案内を送付します。

## 千歳支部

### 家の模型をつくってみよう

事務局員

長峰 汐里



千歳支部は昨年12月に千歳市で行われた「年忘れ防災フェスタ」イベントに、千歳市と共催で出展いたしました。

出展内容は、「我が家の耐震診断」で、耐震診断についての相談を受けることはもちろんですが、子供たちにも楽しんでもらえるよう、「家の模型をつくってみよう」という工作のブースも展開しました。模型づくりのなかで、筋交い

をいれることによって家が強くなることを子供たちにも知ってもらおう狙いです。

初めは耐震診断についての相談ブースと模型作りブースにわかれて準備をしていましたが、イベントがスタートすると、たくさんの子供たちが模型づくりに参加しに来てくれ、途中で作業スペースが足りなくなり、相談ブースも使用するほどの盛況ぶりでした。釘を打ち、時にはお父さんお母さんの力を借りながらも自分で完成させた小さな家を皆さん満足そうに持って帰ってくれました。

千歳支部では、今年の夏、千歳市主催で行われる「向陽台見学ツアー」でもこの模型づくりを出展する予定です。子供から大人まで、多くの人に楽しんでいただけたらいいと思います。



「家の模型をつくってみよう」(年忘れ防災フェスタ)

## 釧路支部

### 折り紙建築活動について

下元 英徳



この度、釧路支部活動のツールとして長年利用されている折り紙建築が、一枚の絵葉書となった活動について紹介させていただきます。

15年ほど前、釧路フィッシャーマンズワークMOOで支部メンバーと折り紙建築活動をしていたところ、ある女性に声を掛けられました。彼女は釧路市で絵画教室を主宰する植物細密画家さんで、当時は白い紙に折り目切り目を入れて製作するだけのものですが、折り紙建築を手に取り、くるくる方向を変えながら「面白いものを作ってますね！これに着色したらもっと良くなるわよ」と言われ、近くにあった子供とお絵かきを楽しむためのお家のドローイング折り紙を見て、「これに色つけるの！」を、きっかけに、活動が塗り絵ワークショップのようになってゆきました。お陰様で、時間のない通りすがりの方や未就学児がお母さんと一緒に遊べる地元で人気のワークショップに変化し、多くの方が気軽に参加できる地元で人気の支部になってきました。その後も彼女から海外のペーパークラフトや美術館での市

民活動、彼女の絵画教室の子供たちの作品展など、いろいろなヒントを紹介して頂き活動を応援して頂きました。美術館の運営を支援する活動にも参加させて頂きました。釧路市美術館が入る、まなぼつと幣舞の折り紙建築とカラー立面図の提供で、各々葉書とペン立てに採用され、美術館のお土産になり、利益が釧路市美術館の運営費に還元されました。

冒頭に紹介するとした絵葉書ですが、この活動も釧路に2つある美術館の運営費を少しでも支援しようと考えられた活動で幹事役はやはり植物細密画家さん、“釧路を描く10人の作家たち”メンバーを編成し釧路を描くアートを収集しました。これまでも過去2回にわたり、各々の作品を絵葉書にして2つの美術館に100セットずつ寄贈し売上金を運営費にしてもらっておりましたが、作家先生の高齢化で活動が休眠しておりましたが、新しいメンバーに釧路折り紙建築が仲間入りし、第3集の活動が再開されることとなりました。メンバーの作品は多彩で建物や街並み、釧路湿原や海岸の風景や最近有名になってきた夕焼け、湿原に原生する植物、釧路でロケをした映画俳優の肖像画に折り紙建築、手法も油絵、水彩、アクリ

ル、ペン画に木版画と多彩で個性的な作品群に、建築士が描く設計図を作品として見て頂く機会を頂いた感じになりました。建築は完成されて作品になるものですが、設計図そのものも美しく、自分もいつか綺麗な設計図を描きたいと憧れて今日までありますが、設計図のほか、エスキスや詳細を検討したメモ紙、ちょっとしたイメージスケッチから業者への寸法や納めの指示図まで捨ててしまうのにはもったいない美しい作品が数多く、建築士の手で描き出されています。今回は折り紙建築が作品として人目に触れ、更に葉書として販売されますが、表現としての設計図も絵画として額装された作品になると設計図の第二の用途としても面白いだろうな。と思っております。



折り紙建築が絵葉書に！



# 「木育とまちづくり」

当麻町役場建設水道課 課長補佐 菅野 敏夫 (旭川支部)

当麻町は、旭川市の北東約15kmに隣接する農林業を基幹産業とする人口6千6百人程の町である。

町の総面積の6割以上を森林が占め、この豊かな森林資源を公共建築や民間住宅施策に活用することにより、循環型の森林整備を目指し林業振興へ繋げてゆくという背景がある。

当麻町ならではの独自性のある「まちづくりの基本理念」として、「食育・木育・花育」を産業と一体的に進め、町民全てが豊かな心を育てる「心育」を基本理念におき、地方創生を推進してゆくことを目指している。

木育の一環として、公共建築物の木造化の推進を図り、まちづくりを進めてきた。

平成22年度より整備を開始した公営住宅では、平成26年度までの5ヵ年で、2団地18棟72戸整備し、さらに平成28年度に新規団地として3棟12戸の整備を終え、全体では6ヵ年で3団地21棟84戸の建替整備事業を完了した。この事業で、郊外の老朽化した公営住宅を中心市街地へ移転させ、まちなか居住の推進を図った。また地場資源、地場の技術者の利用の観点から、構造は木造2階建てとし構造材のほぼ全てに町産材を用いた。

供給方式は民活手法である買取方式を導入し事業を行った。



構造材に町産材を使った町営住宅

民間住宅施策においては、地元の木材を活用し町内に住宅を新築する方へ、最大250万円を限度とし町産材の販売額を補助する「町産材活用促進事業補助」を平成25年度から実施している。

また、Uターン事業として町の交付要件を満たした方へ一律450万円を補助する「おかえりふる里応援事業補助」も平成26年度より実施した。

この補助事業において、当麻町土地開発公社で市街地に分譲している団地の購入実績が8倍に伸びた。

町内全域では、4年間で65戸の戸建て住宅が新築され、町外からの転入者も増加し定住対策が図られ、相乗効果が得られたと評価している。

公共建築物の建設は、その計画段階から木造化や内装の木質化を検討し、建築材料以外の各種製品の原料として町産材を活用することも視野に入れる。

平成25年度建設した当麻町公民館「まともーる」は、公民館棟の平屋部分は新在来軸組工法を採用し、構造材全てを町産カラマツ集成材を使用した。

内装材においても町産材を多様し、床にはカバ無垢材のフローリング、壁はナラやニレ材を練り付けて施工した。さらに、家具においても町有林から切り出した樹齢150年のナラ材を用い、家具メーカーである旭川市のCONDE HOUSEに製作を依頼したオンリーワンの家具である。



公民館の家具は樹齢150年の町有林

平成27年度には、内閣府の地域再生戦略交付金を活用し、木育推進の拠点施設である「くるみなの木遊館」を建設。国が示す「まち・ひと・しごと」の創生に向けた総合戦略の先行的取り組みとして、木造準耐火建築物として整備を図った。

本年4月からは、役場新庁舎の建設に取りかかり、メインテーマを「ひとに、まちに、ぬくもりを与える庁舎」として、オール町産材を使用し建設する。



役場新庁舎はオール町産材を使用

まちづくりにおいて、地元の木を地元で消費する「地産地消」の拡大は、将来の当麻町において大きな財産となるものと考えられる。

町産材を活用した公共建築物の建設は、地域経済の活性化にも繋がり、そこを利用する方々に愛着心が湧く。また、そこに住んで暮らす人々の心には、郷土愛が生まれるものと信じている。



## 青年委員会

### 青年建築士の集い

委員

渡辺 淳 (室蘭支部)



平成29年青年建築士の集い(苦小牧大会)が5月20日に苦小牧市市民交流センターにて開催されました。



会場：苦小牧交流センター

今年も昨年同様に、12月に京都府で開催される全国建築士フォーラムの北海道代表を決める選考会として、道内各ブロックから4支部の代表支部による地域実践活動の発表を行いました。

発表順はくじ引きで決め、

- ・日高支部、テーマ『10年』
- ・旭川支部、テーマ『防災イベント「建築士と一緒に楽しく学んで防災博士になろう!」』
- ・十勝支部、テーマ『「ものづくり」体験を通して未来の建築士を!』
- ・空知支部テーマ『ちびっこ建築士』

の順番で発表し、発表時間は全国大会に合わせて7分としました。発表者の皆様は制限時間一杯まで、時には制限時間をオーバーするなど、白熱した選考会を行う事が出来ました。



地域実践活動発表は4支部から

審査員は集い参加者全員で行い、

1. 『着眼点・先進性』
2. 『企画力』

3. 『地域貢献度』
4. 『今後の期待度』
5. 『ローコスト度』
6. 『プレゼン力』

この6項目を5段階で評価し投票してもらいました。

投票結果は僅差でしたが、道北ブロック旭川支部の『防災イベント「建築士と一緒に楽しく学んで防災博士になろう!」』が見事全国大会の切符を手に入れました。

旭川支部には高野会長より全国建築士フォーラムへの北海道代表として発表する推薦状が授与されました。旭川支部の皆様には好成績を収めて頂くよう期待したいと思います。また、他の発表された支部も大変素晴らしい内容となっております。



北海道代表は旭川支部に決定

後半に行われたのが、文化庁文化財部 伝統文化課 国立アイヌ民族博物館設立準備室 専門職の田中陽二様により「テーマ『国立アイヌ民族博物館基本設計の内容』基調講演が行われました。



基調講演：「国立アイヌ民族博物館基本設計の内容」

白老町の民族共生象徴空間に整備される国立アイヌ民族博物館の概要などを説明していただき、アイヌ文化と和人の考え方の調和などの難しい部分や、現在20万人の来場者数を100万人まで増える事を想定しているなどの貴重なお話を伺う事ができました。

また、講演終了後にわずかな時間でしたが、質疑の時間を設ける事ができ、工事費や維持費などの建築士らしい質問が多数あり、この博物館に対する皆様の興味が強く感じられ、素晴らしい講演会になりました。

その後、昨年の「青年建築士の集い」にて北海道代表として全国建築士フォーラムで発表した函館支部のその後の活動報告を発表して頂きました。取材を受けるなど函館支部の力強い行動力には非常に勉強をさせられます。



青年建築士の集い

集い終了後に行われたホテルニュー王子での懇親会では、用田苦小牧支部長の挨拶、永井青年委員長の乾杯でスタートし、余興では苦小牧の銘菓「よいとまけ」の早食いなどゲームを行い大いに苦小牧支部に盛り上げて頂きました。また、各支部からもたくさんのお土産もいただきありがとうございました。



懇親会の様子

今回の地域実践活動発表会が、今後の各支部の活動にひろがり、次世代を担う人材育成や、地域に根ざした建築士の意識の向上につながればと思います。

最後に開催支部の苦小牧支部の皆様には大変お忙しい時期に遅くまでの打ち合わせや、準備などをしていただき大変ありがとうございました。

## 道士会の動き

### 道本部の主な会議報告（6月）

#### ◆支部長・支部事務局長会議

（開催日）6月3日（土）

- （議題）
- 1) 既存住宅状況調査技術者講習の実施について
  - 2) 監理技術者講習の支部開催について
  - 3) 住教育実施体制整備推進業務について
  - 4) (公社)日本建築士会連合会会長表彰推薦者について
  - 5) (一社)北海道建築士会会長表彰推薦者について
  - 6) 第62回建築士会全国大会北海道大会について
  - 7) 第42回全道大会（後志大会）の実施計画等について
  - 8) 会費未納者の対応及び資格喪失会員について

#### ◆社会貢献に関する検討会議（青年委員会）

（開催日）6月17日（土）

- （議題）
- 1) 「社会貢献活動」に関する取り組みについて
  - 2) 全道大会青年サミット・分科会（後志大会）について

#### ◆第2回「家庭科住教育出張講座」運営委員会

（開催日）6月24日（土）

- （議題）
- 1) 「建築士による住教育出張講座」開催校選定
  - 2) 出張講座担当者・建築士教諭向けセミナー担当について
  - 3) 教材・指導方法について

### 関係機関等会議参加予定（7月）

- 5日（水） 建築技術教育普及センター理事会  
高野会長出席
- 8日（土） 青森県建築士会青森大会  
高野会長出席・吉木副会長出席
- 12日（水） 建築設備試験審査会議  
高野会長出席

### 道本部の主な行事予定（7月）

- 29日（土） 第2回女性委員会

## 編集後記

早くも一年の半分が過ぎ、日の一番長い時期となりました。業務にイベントに大変忙しい時期となっていることと思います。これから来る本格的な暑さに負けず、北海道の短い夏を思いっきり充実させていきましょう。

さて、今号は全道大会特集でした！ご覧の通り担当の後志支部も気合が入っております。是非とも会員の皆様多数の参加で大会を盛り上げましょう！！

情報委員会 斎藤 勝哉（旭川支部）

## CPD認定プログラム（6月認定）

### ◆「建築士の日記念イベント」

#### 札幌の景観バスツアー-白石区編（札幌市）

《日程及び会場》7月8日（土） 9：30～16：30  
北海道庁白石治療院跡他（札幌市）

《単位数》 4単位

《問合せ先》 (一社)北海道建築士会札幌支部  
TEL 011-232-1843

### ◆コンクリートに関する3工法および

#### CIM導入ガイドライン説明会（札幌市）

《日程及び会場》7月31日（月） 13：00～17：00  
北海道建設会館（札幌市）

《単位数》 4単位

《問合せ先》 (一社)日本建設業連合会北海道支部  
TEL 011-261-6245

### ◆平成29年度 北海道住宅検査人

#### 登録講習会（札幌市）

《日程及び会場》7月13日（木） 13：00～17：35  
北海道第二水産ビル（札幌市）

《単位数》 3単位

《問合せ先》 (一社)北海道建築技術協会  
TEL 011-251-2794

## 講習会のご案内

### 平成29年監理技術者講習

#### ■開催場所

(一社)北海道建築士会 事務局会議室  
7月19日（水） 8月25日（金）

### 他団体からのお知らせ

#### 平成29年度 インテリアプランナー試験「設計製図試験」

昨年度から建築士は学科試験が免除されています。

(公財)建築技術普及センター <http://www.jaenic.or.jp>

情報委員会委員長／早川 陽子  
副委員長／斎藤 勝哉・高松 徹・森 勝利  
委員／熊谷 智・柳山美保子・鈴木 雅人  
柏倉 晶憲

### 北海道建築士 No.239号

印刷 平成29年6月／発行 平成29年7月

編集・発行 一般社団法人 北海道建築士会  
〒060-0042 札幌市中央区大通西5丁目11番地  
大五ビル  
電話 (011) 251-6076番  
URL <http://www.h-ab.com/>

印刷 株式会社 正文舎  
〒003-0802 札幌市白石区菊水2条1丁目  
電話 (011) 811-7151番